

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	朝礼時に「ひまわりの家」の理念を唱和しているがひ・ま・わ・りに込められた意味を具体化せず何気なく日々の仕事をしている。	ひ：入居者・家族には心地よいホームであり職員には働きやすい職場環境にする。ま：人生の先輩として尊敬の念を持ち傾聴する姿勢。わ：利用者中心で和気あいあいとした生活。り：ボランティアさんの力を今まで以上に借り行事を豊かにしていく。	毎日の業務の中で一人一人の職員が初心に帰り常に意識を持って仕事に取り組む。毎月の職員会議の中で繰り返し周知し徹底を図る。又、ホームの行事には協力をその都度働きかけていく。	12ヶ月
2	4	運営推進会議に職員代表も毎回参加しているが限られた一部の職員になっている。会議内容の記録はあるものの全職員への報告が出来ていない。	順次職員が交替で参加する事で推進会議の意義を理解してもらい話し合われたことが日頃のケアに生かせるようにする。	2ヶ月に1回開催されている会に各棟から毎回1名(管理者、施設長を除いて限定した職員)の参加(年に3名のみ)から毎回別の職員(新しく参加することになる)、会議録を元に出席職員から職員会議を利用して皆に報告してもらう。	24カ月
3	35	火災に対しては訓練しているものの、地震・水害に対する意識が少ない。	地震・水害に対しての勉強会、訓練を行い職員に意識付けをする。	勉強会では全国の地震・水害の事例を出し合い職員で被害をいかに最小限にするかを話し合う。話し合った結果を訓練に取り入れる。	10カ月
4					カ月
5					カ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。